

NEC

P C 9 8 -

NX

活用ガイド 再セットアップ編

再セットアップする

PC98-**NX** シリーズ

Mate NX

Mate NX[®]

(Windows 98インストールモデル)

本機に添付されているマニュアルを、目的にあわせてご利用ください

ご購入いただいたモデルによっては、下記以外にもマニュアルが添付されている場合があります。また、印のマニュアルは、省スペース型モデルの場合は、電子化マニュアルをご覧ください。詳しくは、『はじめにお読みください』6. マニュアルの使用法をご覧ください。

添付品の確認、本機の接続、Windows 98のセットアップ

→ 『はじめにお読みください』

本機を安全に使うための情報

→ 『安全にお使いいただくために』

Windows 98の基礎知識、基本的な操作方法

→ 『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』
またはWindows 98のヘルプの中にあるオンライン形式の
『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』

本機の各部の名称・機能、システム設定(BIOS設定)

→ 『活用ガイド ハードウェア編』

MA46H/Sのシステム設定(BIOS設定)

→ 『本機をお使いの方へ』

本機にインストール/添付されているアプリケーションの削除/追加、他のOSのセットアップ方法

→ 『活用ガイド ソフトウェア編』

トラブル解決方法

→ 『活用ガイド ソフトウェア編』

このマニュアルです

再セットアップ方法

→ 『活用ガイド 再セットアップ編』

本機の機能を拡張する機器の取り付け方、内部構造の説明

→ 『ハードウェア拡張ガイド』

ATコマンドについて

→ 『ATコマンド』(電子化マニュアル)

ディスプレイの利用方法

→ 液晶ディスプレイ、CRTディスプレイがあり、マニュアルが添付されています。ご使用のモデルによって異なります。

選択アプリケーション(ワードプロセッサ/表計算ソフトウェア)の利用方法

→ Office 2000 Personal、一太郎10・花子10パック & 1-2-3 2000があり、マニュアルが添付されています。ご使用のモデルによって異なります。

ビジネスでお使いになるお客様向けのメンテナンスとサポート情報の紹介

→ 『メンテナンス&サポートのご案内』

パソコンに関するNECの相談窓口や受講施設、故障時のサービス網の紹介

→ 『NEC PC あんしんサポートガイド』

Microsoft関連製品の情報について

次のWebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウェア開発者、技術者、およびネットワーク管理者用に、Microsoft関連製品を活用するための書籍やトレーニングキットなどが紹介されています。

<http://www.microsoft.com/japan/info/press>



はじめに

このマニュアルは、再セットアップ方法について説明しています。

このマニュアルは、フォルダやファイル、ウィンドウなど、Windows 98 の基本操作に必要な用語とその意味を理解していること、また、それら进行操作するためのマウスの基本的な動作が一通りでき、Windows 98 もしくは添付のアプリケーションのヘルプを使って操作方法を理解、解決できることを前提に本機固有の情報を中心に書かれています。

もし、あなたがコンピュータにはじめて触れるのであれば、上記の基本事項を関連説明書などで一通り経験してから、このマニュアルをご利用になることをおすすめします。

選択アプリケーション、本機の仕様については、お客様が選択できるようになっているため、各モデルの仕様にあわせてお読みください。

仕様についての詳細は『活用ガイド ハードウェア編』の「PART4 付録」MA45L/Rをお使いの方は「PART3 付録」をご覧ください。

1999年 10月 初版

このマニュアルの表記について

このマニュアルで使用している記号

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。



してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。また、全体に関する注意については、「注意事項」としてまとめて説明しています。



パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。



利用の参考となる補足的な情報をまとめています。



マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

このマニュアルで使用している表記の意味

本機	次の機種を指します。 PC98-NX シリーズ Mate NXまたはMate NX R (Windows 98インストールモデル) 本機がどのモデルに該当するかは、型番を調べればわかります。型番の読み方については、『はじめにお読みください』をご覧ください。
本体	ディスプレイやキーボードなどの周辺機器を含まないPC 98-NX シリーズ Mate NXまたはMate NX R(Windows 98インストールモデル)を指します。
Mate NX	MA60J/M、MA50J/M、MA55J/S、MA50J/S、MA46H/S、MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/Lを指します。
Mate NX R	MA45L/Rを指します。
NetPCモデル	フロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブが搭載されていない状態でご購入いただいたモデルです。
「スタート」ボタン 「設定」「コントロール パネル」	「スタート」ボタンをクリックし、現れたポップアップメニューから「設定」を選択し、横に現れるサブメニューから「コントロールパネル」を選択する操作を指します。
【 】	【 】で囲んである文字はキーボードのキーを指します
『 』	『 』で囲んである文字はマニュアルの名称を指します

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows、 Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System 日本語版

このマニュアルで使用しているイラストと画面

- ・このマニュアルに記載のイラストと画面は、実際のものとは多少異なることがあります。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされている Windows 98および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
- (9) ハードウェアの保守情報をセーブしています。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Active Movie、NetMeeting、Outlook、Bookshelf、Windows Media およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

©NEC Corporation 1999

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。本製品の輸出については、外国為替及び外国貿易法に基づいて通商産業省の許可が必要となる場合があります。必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。輸出に際しての許可の要可については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

このマニュアルの構成・読み方

『はじめにお読みください』でセットアップが完了しましたら、必要に応じてこのマニュアルを活用してください。

また、このマニュアルは検索性を高めるため、目次の次に索引を記載しています。索引に載せてある用語は、目次、注意していただきたい内容 ( チェック!!)、用語 ( 用語 )、メモ ( メモ) を検索するのに都合の良い言葉を選んでいきます。

目次

索引

PART1 再セットアップする

本機に添付されている「システムインストールディスク」や「バックアップCD-ROM」を使って、本機のシステムを出荷時の状態に復元する方法を説明しています。

はじめに.....	3
このマニュアルの表記について	4
ご注意	6
このマニュアルの構成・読み方	7
目次(このページです).....	8
索引	9
再セットアップする	11
再セットアップについて	12
再セットアップが必要になるとき	12
再セットアップする前の注意	14
標準再セットアップとカスタム再セットアップ	16
工場出荷時と同じ状態にする - 標準再セットアップ	18
標準再セットアップの手順	18
全領域を1パーティションにして再セットアップする (カスタム再セットアップ).....	23
「全領域を1パーティションにして再セットアップする」手順	23
Cドライブのみ再セットアップする(カスタム再セットアップ)...27	
「Cドライブのみ再セットアップする」手順	27
ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする (カスタム再セットアップ).....	31
ユーザ設定の手順	31
フォーマットできなかったハードディスクをフォーマットする	49
NetPCモデルを再セットアップする	50
再セットアップする前の注意	50
再セットアップの手順	51
FAT32ファイルシステムの利用	62
FAT32ファイルシステムについて	62
FAT32を使用する場合の注意	62
FAT32の設定方法.....	63

索引

ページ太字:説明や作業のあるページを指します。
ページ細字:図や文章に出てくるページを指します。

英数字

FAT	62
FAT16	32
FAT32ファイルシステム	62
FDISK	33
File Allocation Table	62
NetPCモデル	50
PC-NF-U001	50
PC-NF-U002	50
Safeモード	13

カ行

拡張MS-DOS領域	33
カスタム再セットアップ	23, 31
起動ディスク	52
基本MS-DOS領域	33
工場出荷時	18

サ行

再セットアップ	12
---------------	----

八行

標準再セットアップ	18
-----------------	----

ラ行

論理MS-DOSドライブ	33
--------------------	----

再セットアップする

本機に添付されている「システムインストールディスク」や「バックアップCD-ROM」を使って、本機のシステムを工場出荷時の状態に復元する方法を説明しています。

この章の読み方

必ず次ページの「再セットアップについて」を読んだ後に、再セットアップ方法を選択し、該当するページをご覧ください。

この章の内容

再セットアップについて	12
工場出荷時と同じ状態にする - 標準再セットアップ	18
全領域を1パーティションにして再セットアップする (カスタム再セットアップ).....	23
Cドライブのみ再セットアップする(カスタム再セットアップ).....	27
ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする (カスタム再セットアップ).....	31
NetPCモデルを再セットアップする	50
FAT32ファイルシステムの利用	62



再セットアップについて

再セットアップを行うと、こわれてしまった本機のシステムを復旧することができます。ただし、ハードディスクに保存したファイルが消えてしまいます。時間もかかる作業なので再セットアップが必要かどうかをよく確認してから始めてください。

再セットアップが必要になるとき

次のようなとき、本機の再セットアップが必要です。

1. トラブルによるシステムの復旧をするため
 - ・ 電源を入れても電源ランプは点灯するが、Windows 98が動作しない。
 - ・ ハードディスクの中のプログラムが正常に動作しない。
 - ・ ハードディスク内のシステムファイルを誤って消してしまった。
 - ・ スキャンディスクを行っても修復できない。
 - ・ Safeモードで起動しても問題が解決できない。
2. ハードディスクの設定を変更するため
 - ・ Cドライブの容量を変更したい。
 - ・ FAT32を利用したい。
 - ・ ハードディスクを1つのパーティションにしたい。
3. Windows 98の設定を変更するため
 - ・ Windows 98を工場出荷時の状態に戻したい。
 - ・ 登録した名前や会社名を変更したい。

用語 再セットアップ

本機のシステムがこわれてしまったときに、CD-ROMに入っているデータをもとに、工場出荷時と同じ状態に戻す作業のことです。

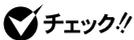
ハードディスクの構成を変えるときも、ハードディスクをフォーマット(初期化)し直すとシステムが消えてしまうので、再セットアップが必要です。

Safeモードで起動して問題を解決する

SafeモードはWindowsの正常な起動を行えるようにするための、特殊な診断モードです。以下の手順でSafeモードを起動させてください。

- 1 問題のあるWindows 98を起動する
- 2 「NEC」のロゴの画面が表示されたら、すぐに【Ctrl】を「Microsoft Windows 98 Setup Menu」が表示されるまで押し続ける
- 3 「3.Safe mode」を選択し、【Enter】を押す
- 4 キーボードのタイプを判定しますと表示されたら、【半角/全角/漢字】を押す
- 5 「WindowsはSafeモードで実行されています」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック
Safeモードが起動します。

Safeモードで起動して解決できる問題は、ネットワークまたはハードウェアの設定に問題があります。コントロールパネルで設定を確認してから、Windowsを再起動してください。



チェック!

Safeモードで実行しているときは、いくつかのデバイスが利用できなくなることがあります。

再セットアップする前の注意

- NetPCモデルをお使いの場合は、後述の「NetPCモデルを再セットアップする」(P.50)をご覧ください、再セットアップを行ってください。
- データをバックアップしてください。
ご自分で作成されたデータは再セットアップによってすべて消去されます。再セットアップを始める前に、必ずバックアップをとってください。ただし、「Cドライブのみ再セットアップする」を選択した場合はDドライブ以降のデータは消去されません。
- パソコンの設定を控えてください。
再セットアップを行うと、ネットワークの設定などはすべて工場出荷時の状態に戻ってしまいます。再セットアップ後も現在と同じ設定で使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。
- 必要なものを準備してください。
再セットアップの作業にはいる前に、本機に添付されている、次のCD-ROM、フロッピーディスクを準備してください。

「バックアップCD-ROM」

「システムインストールディスク」

選択アプリケーションのあるモデルのときは、それぞれのアプリケーションのCD-ROMも必要です。また、本機購入後に自分でインストールしたアプリケーションを使うときは、そのインストール用のディスクが必要です。

準備するものは、モデルによって異なりますので、再セットアップ中に表示される「再セットアップの準備」の画面で確認して、すべて準備するようにしてください。

Ultra SCSIインタフェースボード(Wide対応)搭載モデルに添付されている「Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/4944/AIC-78xx PCI SCSI Controller(Windows NT® 4.0)ドライバディスク」は本機でWindows NT 4.0を利用するときのみ使用します。Windows 98を再セットアップするときには必要ありません。

- 別売の周辺装置は取り外してください。
『はじめにお読みください』をご覧ください、本機に添付されていた機器のみを接続した状態で再セットアップを行ってください。再セットアップ後、別売の周辺機器の接続を行ってください。

- Ultra SCSI インタフェースボード(Wibe対応)搭載モデルでWindows 98を再セットアップする場合、Ultra SCSI インタフェースボードが工場出荷時のスロットに挿入されている必要があります。工場出荷時のスロット位置は、次のようになりますので再セットアップの前に確認してください。

< MA60J/M、MA50J/M、MA55J/S、MA50J/Sの場合 >
PCIスロット#3

< MA46H/Sの場合 >
PCIスロット#1

< MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA46H/Cの場合 >
PCIスロット#2

スロット番号については『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部」をご覧ください。

- 再セットアップは途中でやめないでください。
再セットアップを始めたら、本書の手順通りに、最後まで行ってください。途中でやめた場合は、最初から再セットアップを行ってください。
- 別売のアプリケーションは再セットアップ完了後にインストールを行ってください。
別売のアプリケーションも再セットアップによってすべて消去されます。再セットアップがすべて完了してから、インストールを行ってください。
- カスタム再セットアップを行う場合、ハードディスクのボリュームラベルが全角文字または半角カタカナで入力されているときは、領域の削除ができません。
「マイコンピュータ」でハードディスクドライブのアイコンを右クリックして「プロパティ」で半角英数字に入力し直すか、ボリュームラベルを削除してください。
Windows 98が起動しない場合は、「起動ディスク」を使って本機を起動し、コマンドプロンプトから以下のように入力してボリュームラベルを変更してください。

C:¥WINDOWS¥COMMAND¥LABEL ドライブ名 :[Enter]

標準再セットアップとカスタム再セットアップ

再セットアップには、「標準再セットアップ」と「カスタム再セットアップ」の2つがあります。ここでは4つのパターンと、NetPCモデルの場合に分けて、再セットアップの手順を説明します。

標準再セットアップ

ハードディスクを工場出荷時と同じ状態に戻します。初心者の方およびハードディスクについての知識のない方は、必ずこの方法で再セットアップしてください。

- ✔ **チェック!** 標準再セットアップでは第2パーティションも工場出荷時と同じ状態に戻ります。また、2台目の内蔵ハードディスクを増設している場合、2台目もフォーマットされます。データのバックアップを忘れずに行ってください。

参照 工場出荷時と同じ状態にする(P.18)

カスタム再セットアップ

全領域を1パーティションにして再セットアップする
第2パーティション(Dドライブ)を作成しないですべての領域をCドライブ(FAT32ファイルシステム)にして再セットアップします。Cドライブのハードディスク容量を最大にすることができます。自動的にFAT32ファイルシステムになりますので、利用する前に、「FAT32を使用する場合の注意」(P.62)をご覧ください。

参照 全領域を1パーティションにして再セットアップする(P.23)

Cドライブのみ再セットアップする
Cドライブの容量を変更しないで、Cドライブのみを再セットアップするときに、この方法で再セットアップします。Cドライブ以外のハードディスクのデータを残しておくことができます。

参照 Cドライブのみ再セットアップする(P.27)

ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする(ユーザ設定)

FDISKコマンドを使って、ハードディスクの領域を変更して再セットアップすることができます。Cドライブのハードディスク容量を変更したいときにはこの方法で再セットアップします。

参照▶ ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする(P.31)

NetPCの再セットアップ

NetPCモデルの場合は、別売の管理者用FDドライブキット(PC-NF-U001)を使用して再セットアップします。FDISKコマンドを使用しますので、ハードディスクの領域を変更して再セットアップすることができます。

参照▶ NetPCモデルを再セットアップする(P.50)



工場出荷時と同じ状態にする - 標準再セットアップ

「標準再セットアップ」を行うと、本機を工場出荷時と同じ状態に戻すことができます。

標準再セットアップの手順

標準再セットアップは次の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いておきます。参考にしてください。

1 システムを再セットアップする(約1時間10分)

メモ

再セットアップにかかる時間は、モデルによって異なります。それぞれ再セットアップ中に表示される画面で確認してください。

2 Windows 98の設定をする(約20分)

3 選択アプリケーションのあるモデルの場合は、各アプリケーションを再セットアップする(約15分)

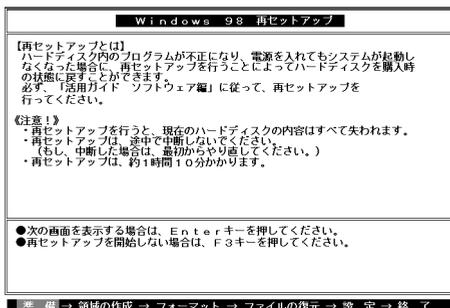
4 購入後に行った設定をやり直す

 **チェック!!** 再セットアップは途中で中断しないでください。もし中断したときは、最初からやり直してください。

1. システムを再セットアップする

再セットアップは、ハードディスクの全ドライブに対して行われます。スーパーディスクドライブが搭載されているモデルをお使いの場合は、フロッピーディスクドライブをスーパーディスクドライブと読み替えてください。

- 1 本機の電源を入れる
- 2 電源ランプがついたら、すぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする
- 3 次の画面が表示されたら、【Enter】を押す



メモ

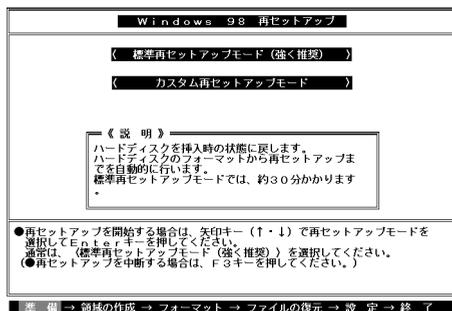
再セットアップにかかる時間はモデルによって異なりますので、この画面で確認してください。

「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、この画面は表示されません。その場合は、ディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切って、手順1からやり直してください。

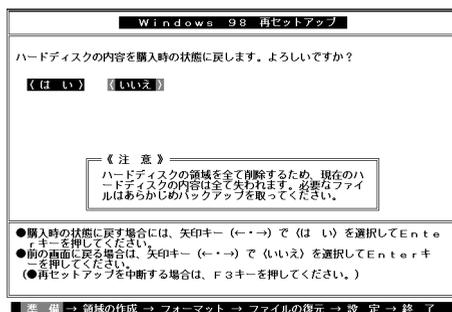
「Invalid system disk Replace the disk...」と表示された場合は、別のフロッピーディスクがセットされています。「システムインストールディスク(起動用)」をセットし直して、何かキーを押してください。

- 4 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットする
- 5 「再セットアップの準備」の画面が表示されたら、【Enter】を押す

- 6 次の画面が表示されたら、「標準再セットアップモード(強く推奨)」を選択し、【Enter】を押す
「ハードディスクの内容を購入時の状態に戻します。よろしいですか?」と表示されます。



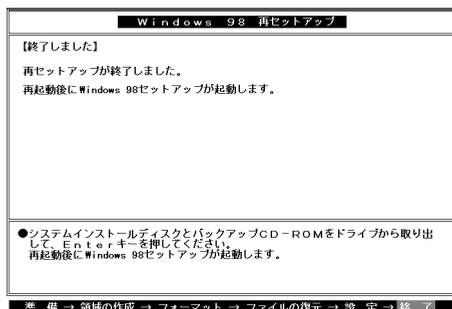
- 7 「はい」を選択し、【Enter】を押す



ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップが始まります。機種、モデルによって異なりますが、約1時間10分かかります。途中でフロッピーディスクを入れ替えるメッセージが表示されたら、指示に従って入れ替えてください。

- ✓**チェック!!**
- ・ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMやフロッピーディスクを取り出したり、電源スイッチを押したりしないでください。
 - ・再セットアップ中に数回ピーブ音が鳴りますが、問題ありません。

ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップが終わると次の画面が表示されます。



チェック!! この画面が表示されなかったときは、再セットアップは正常に行われていません。はじめからやり直してください。

8 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク」を取り出す

9 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す

10 【Enter】を押す
システムが再起動し、しばらくすると「Windows 98へようこそ」の画面が表示されます。

2. Windows 98の設定をする

ここで行う操作は、はじめて本機を使ったときの操作(『はじめにお読みください』)と同じ操作です。

1 ディスプレイの解像度を選択する画面が表示された場合は、画面の指示に従って画面の解像度を選択し、【Enter】を押す

チェック!!

- ・800×600ピクセルの解像度を表示できるかどうか分からない場合は、640×480ピクセルを選択してください。
- ・解像度選択後、途中で再起動を促す画面が表示された場合は、必ず「はい」ボタンをクリックしてください。また、再起動にはしばらく時間がかかる場合があります。

- 2 「Windows 98 へようこそ」の画面が表示されたら、キーボードを使って名前とふりがなを入力し、「次へ」ボタンをクリック。名前を入力しないと、次の操作に進むことはできません。ここで入力した名前、ふりがなは再セットアップが完了した後は変更できません。変更するには、再セットアップが必要です。

 **チェック!!** 640×480 ピクセルの解像度で表示した場合、「次へ」ボタンは画面の右下に隠れています。マウスでスクロールバーを操作してください。

- 3 「Windows ユーザー使用許諾契約」の画面を確認する
 (スクロールボタン) をクリックするか、キーボードの【Page Down】を押すと、「契約書」の下の方を読むことができます。
- 4 「同意する」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック
(同意しない場合、セットアップは続行できません)
- 5 「セットアップの完了」の画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック
- 6 画面の指示に指示に従ってセットアップを進める
何度か画面が変わり、次の画面が出るまでしばらくかかります。
セットアップが終了すると自動的に再起動します。

3. アプリケーションを再セットアップする(選択アプリケーションのあるモデルのみ)

各アプリケーションを再セットアップしてください。
再セットアップ方法は『活用ガイド ソフトウェア編』PART1 アプリケーションの概要と削除 / 追加 の「追加」をご覧ください。

4. 購入後に行った設定をやり直す

購入後に行った設定は、再セットアップによってすべてなくなっている
ので、設定し直してください。
別売の周辺機器がある場合は接続して設定し直してください。ネット
ワークの設定なども再設定してください。また、別売のアプリケーション
をインストールしていた場合もインストールし直してください。

全領域を1パーティションにして再セットアップする(カスタム再セットアップ)

ハードディスクの領域を1つのドライブとして作成したいときは、この方法で行います。

「全領域を1パーティションにして再セットアップする」手順

全領域を1パーティションにして再セットアップは、次の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いておきます。参考にしてください。

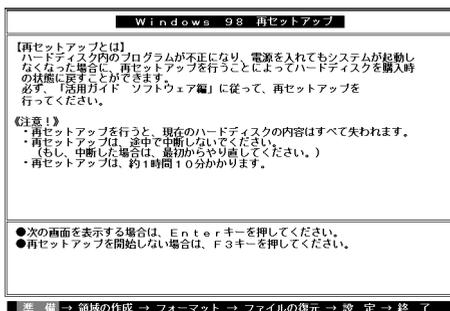
- 1 システムを再セットアップする(約1時間10分)
- 2 Windows 98の設定をする(約20分)
- 3 選択アプリケーションのあるモデルの場合は、各アプリケーションを再セットアップする(約15分)
- 4 購入後に行った設定をやり直す

 **チェック!!** 再セットアップは途中で中断しないでください。もし中断したときは、最初からやり直してください。

1. システムを再セットアップする

スーパーディスクドライブが搭載されているモデルをお使いの場合は、フロッピーディスクドライブをスーパーディスクと読み替えてください。

- 1 本機の電源を入れる
- 2 電源ランプがついたら、すぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする
- 3 次の画面が表示されたら、【Enter】を押す



メモ

再セットアップにかかる時間はモデルによって異なりますので、この画面で確認してください。

「システムインストールディスク」のセットが遅いと、この画面は表示されません。その場合は、ディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切って、手順1からやり直してください。

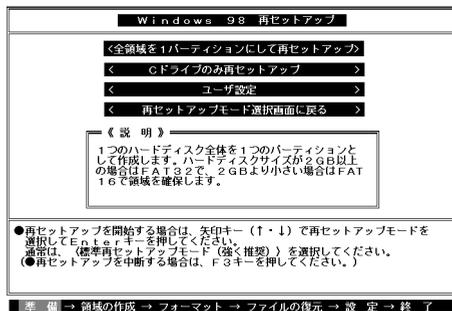
「Invalid system disk Replace the disk....」と表示された場合は、別のフロッピーディスクがセットされています。「システムインストールディスク(起動用)」をセットし直して、何かキーを押してください。

- 4 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットする
- 5 「再セットアップの準備」の画面が表示されたら、【Enter】を押す

6 次の画面が表示されたら、【<】を1回押して「カスタム再セットアップモード」を選択し、【Enter】を押す

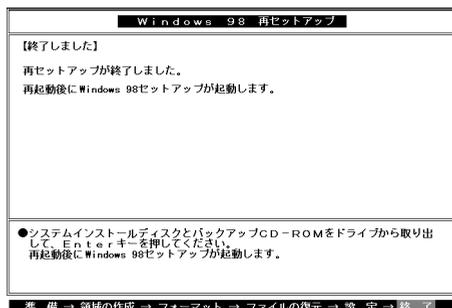


7 「全領域を1パーティションにして再セットアップ」を選択し、【Enter】を押す



- 8 「ハードディスクの領域を下記の様に設定し、ファイルを購入時の状態に戻します。よろしいですか?」と表示されるので、【 】を1回押して【Enter】を押す

システムの再セットアップが終わると次の画面が表示されます。



- 9 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク」を取り出す
- 10 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す
- 11 【Enter】を押す
Windows 98が再起動し、しばらくすると「Windows 98へようこそ」の画面が表示されます。

これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。

「工場出荷時と同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「2.Windows 98の設定をする」(P.21)に進んで、その後の操作を行ってください。

Cドライブのみ再セットアップする (カスタム再セットアップ)

Cドライブのみ再セットアップします。Dドライブ以降のデータはそのままなので、Cドライブだけを再セットアップしたい場合は、この方法で再セットアップしてください。ただし、この方法では、Cドライブの容量を変えることはできません。

「Cドライブのみ再セットアップする」手順

Cドライブのみ再セットアップする場合は次の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いておきます。参考にしてください。

- 1 システムを再セットアップする(約1時間10分)
- 2 Windows 98の設定をする(約20分)
- 3 選択アプリケーションのあるモデルの場合は、各アプリケーションを再セットアップする(約15分)
- 4 購入後に行った設定をやり直す



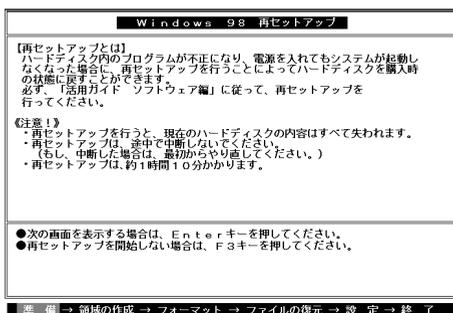
チェック!!

- ・再セットアップは途中で中断しないでください。もし中断したときは、最初からやり直してください。
- ・Cドライブのみ再セットアップする方法では、Cドライブにあるシステムやアプリケーション、データも全て削除されます。再セットアップする前に、必要なデータなどは必ずバックアップをとってください。
- ・Cドライブ以外のハードディスクにアプリケーションをインストールしている場合、再セットアップ後、ハードディスクにアプリケーションが残っていても、そのアプリケーションは再セットアップが必要な場合があります。アプリケーションが正常に動作しない場合は、再セットアップ後に、アプリケーションも再セットアップしてください。

1 システムを再セットアップする

スーパーディスクドライブが搭載されているモデルをお使いの場合は、フロッピーディスクドライブをスーパーディスクと読み替えてください。

- 1 本機の電源を入れる
- 2 電源ランプがついたら、すぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする
- 3 次の画面が表示されたら、【Enter】を押す



メモ

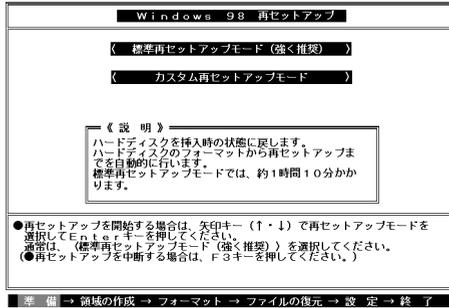
再セットアップにかかる時間はモデルによって異なりますので、この画面で確認してください。

「システムインストールディスク」のセットが遅いと、この画面は表示されません。その場合は、ディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切って、手順1からやり直してください。

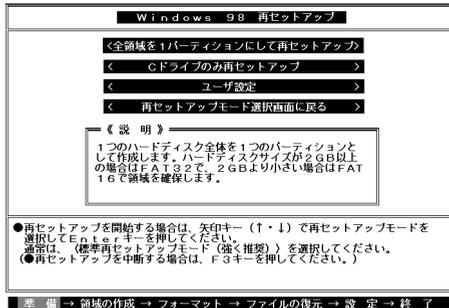
「Invalid system disk Replace the disk....」と表示された場合は、別のフロッピーディスクがセットされています。「システムインストールディスク(起動用)」をセットし直して、何かキーを押してください。

- 4 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットする
- 5 「再セットアップの準備」の画面が表示されたら、【Enter】を押す

6 次の画面が表示されたら、【 】を1回押して「カスタム再セットアップモード」を選択し、【Enter】を押す

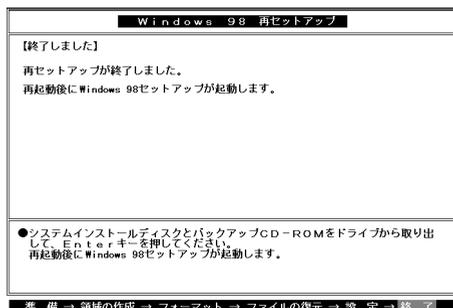


7 【 】を1回押して「Cドライブのみ再セットアップ」を選択し、【Enter】を押す



- 8 「Cドライブの内容を消去し、ファイルを購入時の状態に戻します。よろしいですか？」と表示されるので、【**Y**】を1回押して【Enter】を押す

システムの再セットアップが終わると次の画面が表示されます。



- 9 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク」を取り出す
- 10 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す
- 11 【Enter】を押す
Windows 98が再起動し、しばらくすると「Windows 98へようこそ」の画面が表示されます。

これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。

「工場出荷時と同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「2.Windows 98の設定をする (P.21)」に進んで、その後の操作を行ってください。

ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする(カスタム再セットアップ)

Cドライブのハードディスク領域を自由に変えたいときは、ユーザ設定で行います。

ユーザ設定は、領域の削除や作成が必要なので、パソコンに慣れた方や、ハードディスクについて知識のある方が行う必要があります。

ユーザ設定の手順

ユーザ設定は次の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いておきます。参考にしてください。

- 1 領域を削除する(約5分)
- 2 領域を作成する(約5分)
- 3 ドライブを初期化(フォーマット)する(約10~15分)
- 4 システムを再セットアップする(約1時間10分)

メモ

再セットアップにかかる時間は、モデルによって異なります。それぞれ再セットアップ中に表示される画面で確認してください。

- 5 Windows 98の設定をする(約20分)
- 6 選択アプリケーションのあるモデルのときは、各アプリケーションを再セットアップする(約15分)

7 購入後に行った設定をやり直す



チェック!!

- ・ハードディスクの領域を削除すると、その領域のシステムやアプリケーション、データもすべて削除されます。領域を削除する前に、必ずバックアップをとってください。
- ・再セットアップは途中で中断しないでください。もし中断したときは、はじめからやり直してください。
- ・本機の工場出荷時のCドライブの領域作成状態は、Windows 98(FAT16)で作成できる最大領域(2,047Mバイト)で領域作成しています。FAT16ファイルシステムでは、1つのドライブを2,047Mバイト以上で領域作成することはできません。
- ・2,047Mバイトを越えて領域作成する場合は、「FAT32ファイルシステムの利用」(P.62)をよくお読みください。

FDISKについて

カスタム再セットアップでは、FDISKというコマンドを使って、次のようにハードディスクの領域を作成します。

- | | |
|--------------|---|
| 基本MS-DOS領域 | 起動することができるドライブです。Cドライブが割り当てられ、ここにWindows98をインストールします。1つのハードディスクに1つだけ作成できます。 |
| 拡張MS-DOS領域 | 基本MS-DOS領域以外のMS-DOS領域です。ここから起動することはできません。1つのハードディスクに1つだけ作成できます。拡張MS-DOS領域の中に論理MS-DOSドライブを割り当てることでDドライブ以降として領域を割り当てることができます。 |
| 論理MS-DOSドライブ | 拡張MS-DOS領域の中に作成します。複数のドライブを作成することができます。ここでDドライブ以降を作成します。なお、本機では1つのドライブにつき、最大2,047Mバイト(FAT16の場合)まで作成できます。 |

拡張MS-DOS領域を削除する場合は、論理MS-DOSドライブ 拡張MS-DOS領域の順に削除してください。また、領域を作成する場合は、基本MS-DOS領域 拡張MS-DOS領域 論理MS-DOSドライブの順で作成してください。

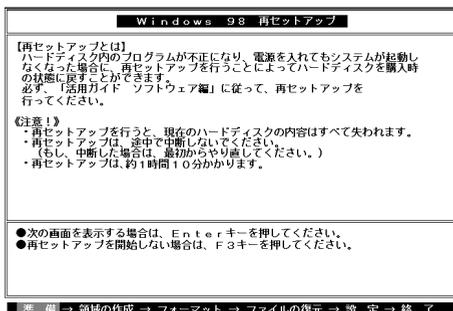
なお、FDISKコマンドで領域作成後、それぞれのドライブをフォーマットすると、ハードディスクが使えるようになります。フォーマットはFORMATコマンドで行います。本機では、カスタム再セットアップの画面から直接フォーマットが実行できるようになっています。

1. 領域を削除する

カスタム再セットアップを行うには、まず再セットアップするドライブの領域を削除する作業が必要です。

スーパーディスクドライブが搭載されているモデルをお使いの場合は、フロッピーディスクドライブをスーパーディスクと読み替えてください。

- 1 本機の電源を入れる
- 2 電源ランプがついたら、すぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする
- 3 次の画面が表示されたら、【Enter】を押す



メモ

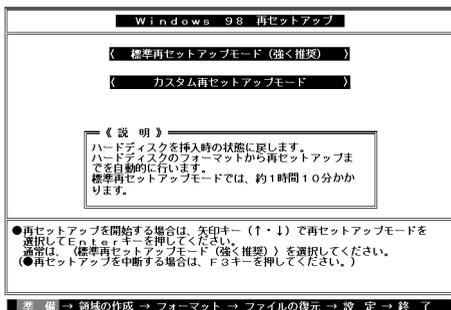
再セットアップにかかる時間はモデルによって異なりますので、この画面で確認してください。

「システムインストールディスク」のセットが遅いと、この画面は表示されません。その場合は、ディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切って、手順1からやり直してください。

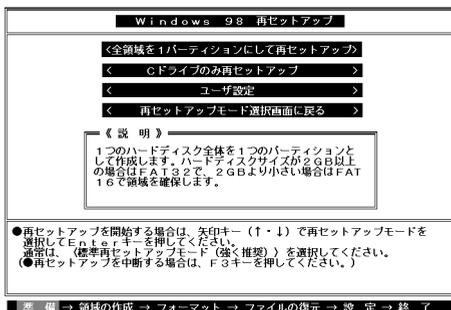
「Invalid system disk Replace the disk...」と表示された場合は、別のフロッピーディスクがセットされています。「システムインストールディスク(起動用)」をセットし直して、何かキーを押してください。

- 4 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットする
- 5 「再セットアップの準備」の画面が表示されたら、【Enter】を押す

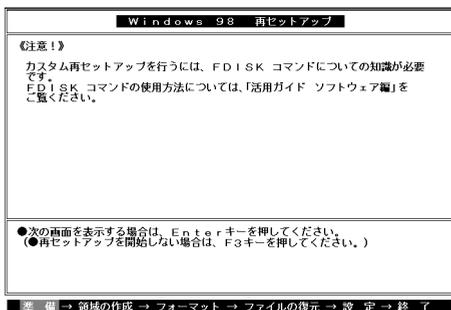
6 次の画面が表示されたら、【>】を1回押して「カスタム再セットアップモード」を選択し、【Enter】を押す



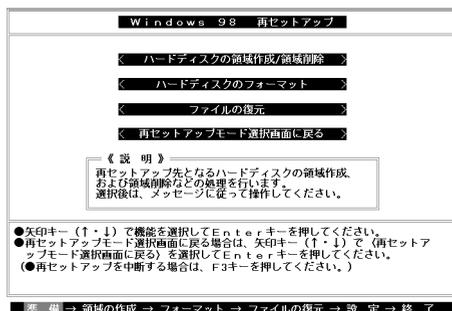
7 【>】を2回押して「ユーザ設定」を選択し、【Enter】を押す



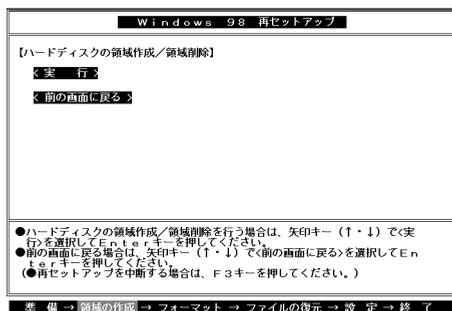
8 次の画面が表示されたら【Enter】を押す



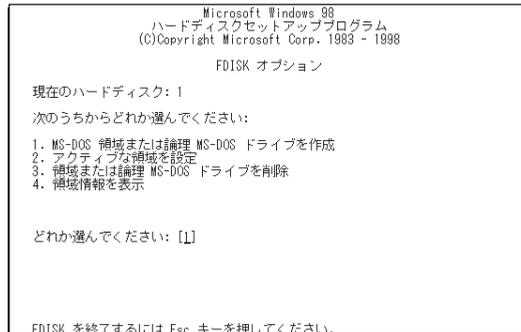
9 「ハードディスクの領域作成 / 領域削除」を選択し、【Enter】を押す



10 「実行」を選択し、【Enter】を押す



「FDISKオプション」の画面が表示されます。



ハードディスクに基本MS-DOS領域しかない場合は、「1-3.基本MS-DOS領域を削除する (P.39)へ進んでください。削除したい論理MS-DOSドライブおよび拡張MS-DOS領域がある場合は、「1-1.論理MS-DOSドライブを削除する」に進んでください。

1-1.論理MS-DOSドライブを削除する

- 1 「3.領域または論理MS-DOSドライブを削除」を選択し、【Enter】を押す
- 2 「3.拡張MS-DOS領域内の論理MS-DOSドライブを削除」を選択し、【Enter】を押す
- 3 ドライブ一覧とともに「どのドライブを削除しますか」と表示されるので、削除するドライブを選択し(Dドライブの場合は【D】を押す)【Enter】を押す
- 4 「ボリュームラベルを入力してください」と表示されるので、ボリュームラベルが付けられている場合は入力し、【Enter】を押す
入力する必要がない場合(削除する領域にボリュームラベルが付けられていない場合)は、そのまま【Enter】を押す

- 5 「よろしいですか(Y/N)」と表示されるので、【Y】を押し、【Enter】を押す
削除されたドライブのところに「ドライブを削除しました」と表示されます。
- 6 他に削除したいドライブがある場合、残りのドライブも同様に3~5の手順ですべて削除する
- 7 すべてのドライブが削除されると「拡張MS-DOS領域の論理ドライブはすべて削除されました」と表示されるので、【Esc】を押す
- 8 「論理ドライブは定義されていません。ドライブ名は変更または削除されました」と表示されるので、【Esc】を押す
FDISKオプションの画面が表示されます。

次に、「1-2.拡張MS-DOS領域を削除する」に進んでください。

1-2.拡張MS-DOS領域を削除する

- 1 「3.領域または論理MS-DOSドライブを削除」を選択し、【Enter】を押す
- 2 「2.拡張MS-DOS領域を削除」を選択し、【Enter】を押す
- 3 「削除した拡張MS-DOS領域データはなくなります。続けますか(Y/N)」と表示されたら、【Y】を押し、【Enter】を押す
- 4 「拡張MS-DOS領域を削除しました」と表示されたら、【Esc】を押す
FDISKオプションの画面が表示されます。

次に「1-3.基本MS-DOS領域を削除する」に進んでください。

1-3. 基本MS-DOS領域を削除する

- 1 「3. 領域または論理MS-DOSドライブを削除」を選択し、【Enter】を押す
- 2 「1. 基本MS-DOS領域を削除」を選択し、【Enter】を押す
- 3 現在のハードディスクの状態とともに、「削除した基本MS-DOS領域のデータはなくなります。どの基本領域を削除しますか」と表示されるので、【1】を押して、【Enter】を押す
- 4 「ボリュームラベルを入力してください」と表示されたら、「WINDOWS98」と入力し(別のボリュームラベルの場合はその名前を入力、何もボリュームラベルが付けられていない場合は何も入力せずそのままの状態)、【Enter】を押す
- 5 「よろしいですか(Y/N)」と表示されたら、【Y】を押し、【Enter】を押す
- 6 「基本MS-DOS領域を削除しました」と表示されたら、【Esc】を押す
FDISKオプションの画面が表示されます。

次に「2. 領域を作成する」に進んでください。

2. 領域を作成する

領域を削除したら、新しく領域を作成します。本機では次のようにして領域を作成します。

ハードディスクを基本MS-DOS領域と拡張MS-DOS領域に分け、さらに拡張MS-DOS領域を論理MS-DOS領域に分けます。このうち基本MS-DOS領域がCドライブ(Windows 98を起動するドライブ)になり、論理MS-DOS領域がDドライブ以降になります。

領域の分け方(1)

基本MS-DOS領域(FAT32)を最大サイズ作成



領域の分け方(2)

基本MS-DOS領域(FAT16)を最大サイズ(2047MB)作成

拡張MS-DOS領域を最大サイズ作成した後、論理MS-DOS領域も最大サイズ作成



領域の分け方(3)

基本MS-DOS領域を作成

拡張MS-DOS領域を最大サイズ作成した後、論理MS-DOS領域を複数作成



領域の削除は、論理MS-DOSドライブ 拡張MS-DOS領域 基本MS-DOS領域の順に削除してください。領域の作成は、逆に基本MS-DOS領域 拡張MS-DOS領域 論理MS-DOS領域の順で作成してください。

2-1. 基本MS-DOS領域を作成する

- ・ 必要なハードディスク容量について
本機では基本MS-DOS領域にWindows 98やアプリケーションをインストールします。領域のサイズを指定して作成する場合は、1700MB以上の領域を作成してください。
- ・ 基本MS-DOS領域の作成
基本MS-DOS領域を最大に割り当てるかどうかで手順が違います。それぞれ該当する部分をお読みください。
 - ・ 最大に割り当てる場合
基本MS-DOS領域を最大に割り当てる場合
 - ・ 最大に割り当てないでサイズを指定する
基本MS-DOS領域をサイズを指定して割り当てる場合(P.42)

基本MS-DOS領域を最大に割り当てる場合

- 1 「1. MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成」を選択し、【Enter】を押す
- 2 「どれか選んでください」と表示されるので、「1. 基本MS-DOS領域を作成」を選択し、【Enter】を押す
- 3 「基本MS-DOS領域に使用できる最大サイズを割り当てますか (同時にその領域をアクティブにします)(Y/N)」と表示されるので、【Y】を押し、【Enter】を押す
- 4 「変更を有効にするには、コンピュータを再起動してください」と表示されたら、【Esc】を押す
- 5 「拡張MS-DOS領域を作成しますか」と表示されたら、「いいえ」を選択し、【Enter】を押す

Windows 98再セットアップの画面が表示されます。

- 「3. ドライブをフォーマットする」に進んでください。

基本MS-DOS領域をサイズを指定して割り当てる場合

- 1 「1. MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成」を選択し、【Enter】を押す
- 2 「どれかを選んでください」と表示されるので、「1. 基本MS-DOS領域を作成」を選択し、【Enter】を押す
- 3 「基本MS-DOS領域に使用できる最大サイズを割り当てますか (同時にその領域をアクティブにします)(Y/N)」と表示されるので、【N】を押し、【Enter】を押す
- 4 「領域サイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください。基本MS-DOS領域を作ります」と表示されるので、数値を入力して【Enter】を押す

メモ

- すでに最大領域が入力された状態で表示されているので、そのまま【Enter】を押すと最大領域が作成されます。
- 割合は全体に対する割合なので、モデルによって同じ%を指定しても作成される容量は異なります。

例: ハードディスクの容量が6Gバイトの場合 20% 約1229Mバイト
ハードディスクの容量が8Gバイトの場合 20% 約1638Mバイト

- 2047MB以下の数値を入力した場合は、「このドライブはFAT32が標準設定になっています。FAT16に変更しますが(Y/N)?」と表示されるので、基本MS-DOS領域をFAT16にする場合は、【Y】を押し、【Enter】を押してください。(工場出荷には基本MS-DOS領域はFAT16に設定されています)また基本MS-DOS領域をFAT32にする場合は、「FAT32を使用する場合の注意 (P.62)の内容を確認しておいてください。

- 5 「基本MS-DOS領域を作成しました」と表示されたら、【Esc】を押す
FDISKオプションの画面が表示されます。
- 6 【2】アクティブな領域を設定)を押し、【Enter】を押す

- 7 「アクティブにしたい領域の番号を入力してください」と表示されるので、【1】を押し、【Enter】を押す
- 8 「領域1がアクティブになりました」と表示されたら、【Esc】を押す
FDISKオプションの画面が表示されます。

次に「2-2.拡張MS-DOS領域を作成する」に進んでください。

2-2. 拡張MS-DOS領域を作成する

- 1 「1. MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成」を選択し、【Enter】を押す
- 2 「2. 拡張MS-DOS領域を作成」を選択し、【Enter】を押す
- 3 「領域のサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください。拡張MS-DOS領域を作ります」と表示されるので、最大サイズが表示されていることを確認し、【Enter】を押す
- 4 「拡張MS-DOS領域を作成しました」と表示されるので、【Esc】を押す

次に「2-3.論理ドライブを割り当てる」に進んでください。

2-3. 論理ドライブを割り当てる

- 1 「論理ドライブのサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください」と表示されます。最大サイズを割り当てない場合は、数字を入力して【Enter】を押す
そのままの状態でも【Enter】を押すと、自動的に最大サイズが割り当てられます。

メモ

2047MB以下の数値を入力した場合は、「このドライブはFAT32が標準設定になっています。FAT16に変更しますか(Y/N)?」と表示されるので、論理MS-DOS領域をFAT16にする場合は、【Y】を押し、【Enter】を押してください。

作成されると、「論理MS-DOSドライブを作成しました。ドライブ名は変更または追加されました」と表示されます。

- 2 割り当てられていない拡張MS-DOS領域がまだ残っている場合は、拡張MS-DOS領域の残りがなくなるまで手順1を繰り返して、すべての拡張MS-DOS領域を論理ドライブに割り当てる
すべての領域が割り当てられると、「拡張MS-DOS領域の使用可能な領域はすべて論理ドライブに割り当てられています」と表示されます。

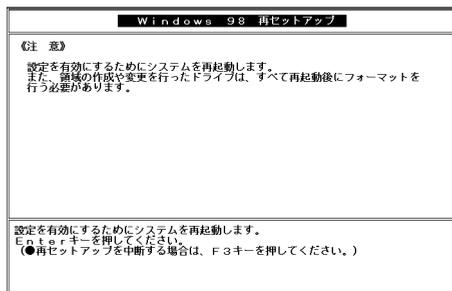
- 3 【Esc】を押して、もう一度【Esc】を押し、FDISKオプションの画面を終了する

メモ

FDISKオプションの画面の「4.領域情報を表示」で作成した領域を確認することができます。

- 4 「変更を有効にするにはコンピュータを再起動してください」と表示された場合は、【Esc】を押す

5 「設定を有効にするためにシステムを再起動します」と表示された場合は、【Enter】を押す



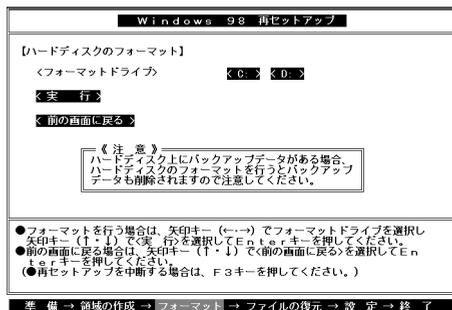
再起動後、Windows 98再セットアップの画面が表示されます。これで領域は作成されました。次に「3. ドライブをフォーマットする」に進んでください。

3 .ドライブをフォーマットする

新しく作成した領域は、フォーマットする必要があります。

1 「ハードディスクのフォーマット」を選択し、【Enter】を押す

2 「C:」を選択し、【Enter】を押す



3 「注意: ドライブC:のハードディスクのデータはすべてなくなります。フォーマットしますか(Y/N)?」と表示されるので、【Y】を押し、【Enter】を押す

フォーマットが始まります。ドライブのサイズにもよりますが、5分ほどかかります。

フォーマットが終わると、「ボリュームラベルを入力してください。」と表示されます。

4 ボリュームラベル(ドライブの名前)が必要なときは、ボリュームラベルを入力して【Enter】を押す。必要がなければ【Enter】だけを押す

ボリュームラベルは、半角英数字で11文字まで、全角文字で5文字まで入力できます。(ボリュームラベルは、ドライブの名前です。「マイコンピュータ」や「エクスプローラ」で表示されます。後で「マイコンピュータ」でドライブのアイコンを右クリックして「プロパティ」を選択すると全般シートで入力、変更することができます)

「Windows 98再セットアップ」の画面に戻ります。

 **チェック!** 新しく領域を作成したドライブは、すべて手順1~4を繰り返してフォーマットしてください(手順2のドライブ名は、【 】キーを押して選択してください)

メモ

拡張MS-DOSドライブ領域が残っているにもかかわらずFDISKオプションを終了させてしまい、再度FDISKオプションを起動し論理MS-DOSドライブを作成した場合は、そのドライブは手順1の画面に表示されず、ここでフォーマットすることができません。またハードディスクを5つ以上に分割(Gドライブ以上作成)した場合も、これ以降のドライブ(G,H,I,...)は手順1の画面に表示されず、ここでフォーマットすることはできません。

これらの場合については、「フォーマットできなかったハードディスクをフォーマットする」(P.49)をご覧ください。

 **チェック!**

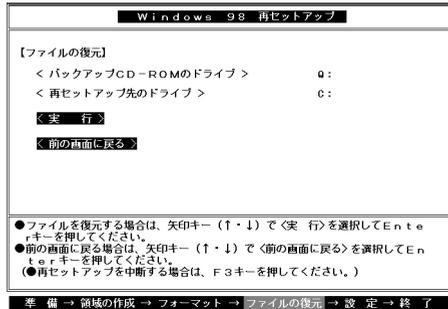
- ・領域を削除しなかったドライブはフォーマットしないでください。フォーマットすると、ドライブ内のすべてのデータが削除されます。
- ・システムインストールディスクはフロッピーディスクドライブから取り出さないでください。

次に「4.システムを再セットアップする」に進んでください。

4 システムを再セットアップする

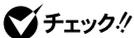
- 1 「Windows 98再セットアップ」の画面で「ファイルの復元」を選択し、【Enter】を押す

次の画面が表示されます。



- 2 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットする
- 3 【Enter】を押す

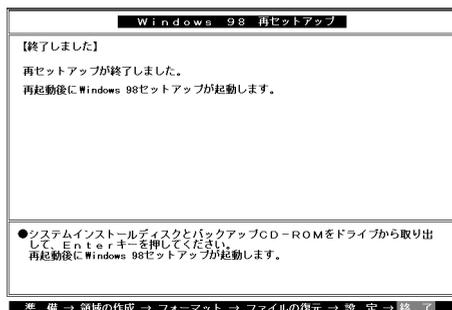
システムの再セットアップが始まります。機種、モデルによって異なりますが、約1時間10分かかります。途中でフロッピーディスクを入れ替えるメッセージが表示されたら、指示に従って入れ替えてください。



チェック!!

- ・ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMやフロッピーディスクを取り出したり、電源スイッチを押したりしないでください。
- ・再セットアップ中に数回ビープ音が鳴りますが、問題ありません。

システムの再セットアップが終わると次の画面が表示されます。



4 フロッピーディスクドライブからシステムインストールディスクを取り出す

5 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す

6 【Enter】を押す

Windows 98が再起動し、しばらくすると「Windows 98へようこそ」の画面が表示されます。

これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。

「工場出荷時と同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「2.Windows 98の設定をする (P.21)」に進んで、その後の操作を行ってください。

フォーマットできなかったハードディスクをフォーマットする

拡張MS-DOSドライブ領域が残っているにもかかわらずFDISKオプションを終了させてしまい、再度FDISKオプションを起動し、論理MS-DOSドライブを作成した場合や、ハードディスクドライブを5つ以上分割した場合(Gドライブ以上作成)は、Gドライブ以降のドライブ(「6. ドライブをフォーマットする」でフォーマットできなかったドライブ)を次の手順によりフォーマットしてください。

- 1 本機の電源を入れる
- 2 「マイコンピュータ」をダブルクリック
- 3 「マイコンピュータ」の画面が表示されたら、フォーマットするハードディスクドライブ(G,H,I,...)のアイコンを右クリックし、表示されたメニューで「フォーマット」をクリック
- 4 「フォーマット」の画面が表示されたら、「通常のフォーマット」をクリック
- 5 「開始」ボタンをクリック
- 6 フォーマットの確認画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 7 「フォーマット結果」の画面が表示されたら、「閉じる」ボタンをクリック
- 8 スキャンディスクの実行を促す画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 9 「フォーマット」の画面の「閉じる」ボタンをクリック
- 10 ヘルプの内容に従ってスキャンディスクを実行する
フォーマットできなかったハードディスクドライブが他にもある場合は、手順3～10を繰り返してフォーマットしてください。



NetPCモデルを再セットアップする

NetPCモデルを再セットアップするには、別売の管理者FDドライブキット(PC-NF-U001)ならびに管理者用FDドライブキット接続ケーブル(PC-NF-U002)が必要です。

再セットアップする前の注意

- ・再セットアップの作業に入る前に、本機に添付されている次のCD-ROM、フロッピーディスクを用意してください。

「バックアップCD-ROM」
「アプリケーションCD-ROM」
「システムインストールディスク」

また、「PC-NF-U001 管理者用FDドライブキット(別売)」に添付されている次のフロッピーディスクを用意してください。

「起動ディスク#1」
「起動ディスク#2」
「起動ディスク#3」

- ・本機とネットワークにて接続されたCD-ROMドライブを内蔵するコンピュータ(Windows NT 4.0、Windows NT Server 4.0、Windows NT 3.51、またはWindows NT Server 3.51のいずれかがインストールされたもの)が必要です。
- ・フロッピーディスクドライブを本機に接続する際は、『PC-NF-U002 管理者用FDドライブキット接続ケーブル取り扱いの手引き』を参照してください。
- ・フロッピーディスクドライブ以外の別売の周辺装置は取り外してください。
『はじめにお読みください』をご覧の上、本機に添付されていた機器のみを接続した状態で再セットアップを行ってください。再セットアップ後、別売の周辺機器の接続を行ってください。

再セットアップの手順

再セットアップは次の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いておきます。参考にしてください。

- 1 起動ディスクの環境を変更する
- 2 システムの設定を変更する
- 3 Windows 98を再セットアップする(約1時間10分)



再セットアップにかかる時間は、モデルによって異なります。それぞれ再セットアップ中に表示される画面で確認してください。

- 4 Windows 98の設定をする(約20分)
- 5 システムの設定を元に戻す
- 6 選択アプリケーションのあるモデルの場合は、各アプリケーションを再セットアップする(約15分)
- 7 購入後に行った設定をやり直す



チェック!!

再セットアップは途中で中断しないでください。もし中断したときは、最初からやり直してください。

1. 起動ディスクの環境の変更

起動ディスクは、標準で次の設定が行われています。

IPアドレス : DHCPによる割り当て
コンピュータ名 : NETFINE
ドメイン : なし
ユーザ名 : ADMINISTRATOR

利用する環境に応じ、edit等のエディタを用いて、起動ディスクの環境ファイルを修正してください。

- ✔ **チェック!** ・起動ディスクは、あらかじめ複製を行い、複製したものを使用してください。
・ライトプロテクトをかけない状態でご使用ください。

1 「アプリケーションCD-ROM」の「¥NDIS2」フォルダにある次のファイルを「起動ディスク#1」および「起動ディスク#2」に上書きコピーする

- ✔ **チェック!** 本機とネットワークにて接続するCD-ROMドライブを内蔵したコンピュータなど、CD-ROMドライブとフロッピーディスクドライブが利用できるコンピュータでコピーを行ってください。

「起動ディスク#1」

¥NDIS2¥CONFIG.SYS ¥CONFIG.SYS
¥NDIS2¥PROTOCOL.INI
¥LANMAN.DOS¥PROTOCOL.INI
¥NDIS2¥ACCND.DOS
¥LANMAN.DOS¥DRIVERS¥ETHERNET¥EN1207D¥ACCND.DOS

「起動ディスク#2」

¥NDIS2¥PROTOCOL.INI
¥LANMAN.DOS¥PROTOCOL.INI

CD-ROMドライブがQドライブ、フロッピーディスクドライブがAドライブの場合、MS-DOSプロンプトから次のように入力する

「起動ディスク#1」

```
A:【Enter】  
CD ¥【Enter】  
COPY Q:¥NDIS2¥CONFIG.SYS【Enter】  
CD ¥LANMAN.DOS【Enter】  
COPY Q:¥NDIS2¥PROTOCOL.INI【Enter】  
CD DRIVERS¥ETHERNET【Enter】  
MD EN1207D【Enter】  
CD EN1207D【Enter】  
COPY Q:¥NDIS2¥ACCND.DOS【Enter】
```

「起動ディスク#2」

```
A:【Enter】  
CD ¥LANMAN.DOS【Enter】  
COPY Q:¥NDIS2¥PROTOCOL.INI【Enter】
```

2 「起動ディスク#1」および「起動ディスク#2」の「AUTOEXEC.BAT」ファイルを次のように編集する

```
@ECHO OFF  
rem A:¥DMICHECK.EXE /SW=B,J,K,M,Y           remを追加  
rem IF ERRORLEVEL 1 GOTO NT40               remを追加  
ADDDRV WIN95.DRV  
:  
:
```

3 「起動ディスク#1」および「起動ディスク#2」の「PROTOCOL.INI」ファイルの「IPアドレス」を次のように変更する

 **チェック!!** DHCPを利用する環境では、本項目を修正する必要はありません。

[TCPIP_XIF]

DISABLEDHCP=1

DHCPによる割り当てを無効にします。

IPADDRESS0=10 0 0 1

IPアドレスを指定します。他のPCと競合しないように設定してください。

SUBNETMASK0=255 0 0 0

サブネットマスクを指定します。

4 「起動ディスク#2」の「LANMAN.INI」ファイルの「コンピュータ名」を次のように変更する

[workstation]

computername=NETFINE

コンピュータ名を指定します。他のPCと競合しないように設定してください。

5 「起動ディスク#2」の「AUTOEXEC.BAT」ファイルの「ドメイン名」「ユーザ名」を次のように変更する

 **チェック!!** ドメインにログオンしない場合は、ドメイン名にSTANDALONEを指定してください。

NET LOGON /D:domain user

domainにはログオンするドメイン名、userにはユーザ名を指定します。

6 MS-DOSプロンプトから次のように入力して、「起動ディスク#3」の「ボリュームラベル」を次のように設定する

LABEL <フロッピーディスクドライブ> :940348631【Enter】

7 「起動ディスク#3」の「sysrestv.ini」ファイルを次のように修正する

```
[ Sysrest ]
Title=Windows 98再セットアップ      修正

[ VolumeLabel ]
SystemInstallDisk=94034863           修正
BackupCDROM=940348400                修正
SetupDisk1=Windows 98                修正

[ TimeStamp ]
VolumeLabel=990712000002
Directory=990712000002
```

8 「起動ディスク#3」のルートディレクトリにあるupdateディレクトリを削除する

9 「システムインストールディスク(起動用)」のルートディレクトリにあるupdateディレクトリを「起動ディスク#3」にコピーする

10 「システムインストールディスク(起動用)」のルートディレクトリにある次のファイルを「起動ディスク#3」のルートディレクトリに上書きコピーする

```
update.dat
sysrestv.gid
han2zen.bat
addatt.bat
check.exe
msdos.old
expand.exe
```

以上で「1.起動ディスクの環境の変更」は終了です。
次に「2.システムの設定を変更する」に進んでください。

2. システムの設定を変更する

 **チェック!!** BIOSセットアップメニューは、工場出荷時の状態では英語で表示されます。以下の説明は、日本語で表示されたメニューで説明しています。日本語のメニューを表示する方法は、『活用ガイド ハードウェア編』PART2 システム設定』をご覧ください。

- 1 本機の電源を入れる
- 2 「NEC」のロゴの表示画面で「F2 :BIOSセットアップメニューを起動します、<F12> :ネットワークブートします。」と表示されたら、【F2】を押してBIOSセットアップメニューを起動する
- 3 メニューバーの「メイン」で次のように設定する
 - ・ フロッピーディスクA:1.44/1.25Mb 3.5"
- 4 メニューバーの「起動」で下記のように設定する
 - 1.[取り外し可能デバイス]
 - 2.[ハードディスク]
 - 3.[ネットワークブート]
 - 4.[ATAPI CD-ROM ドライブ]
- 5 メニューバーの「終了」で「変更を保存して終了する」を選択し、BIOSセットアップメニューを終了させて、本機の電源を切る

以上で「2.システムの設定を変更する」は終了です。
次に「3.Windows 98を再セットアップする」に進んでください。

3. Windows 98を再セットアップする

- ☑ **チェック!!** あらかじめ、ネットワークコンピュータのCD-ROMドライブを共有化してください。

- 1 本機の電源を入れる
- 2 電源ランプがついたら、すぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする
- 3 「再セットアップとは」の画面が表示されたら、【F3】を押して再セットアップを中止し、コマンドプロンプトから「FDISK」と入力する

- ☑ **チェック!!** 「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか(Y/N)」と表示されたら、必ず【N】を入力してください。

FDISK使用方法は「ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする(カスタム再セットアップ)」(P.31)をご覧ください。

- ☑ **チェック!!**
- ・ここで必ずハードディスクの領域の削除と作成を行ってください。行わない場合、以降の処理が正常に実行されません。
 - ・FAT32ファイルシステムのドライブを削除する時は「4 非MS-DOS領域を削除する」を選択してください。
 - ・Cドライブ(再セットアップするドライブ)の状態がアクティブになっていることを確認してください。アクティブになっていない場合はFDISKにてアクティブにした後、以降の手順を行ってください。
 - ・Windows 98を再セットアップするドライブは、1700MB以上の容量が必要です。

- 4 領域の確保後、「変更を有効にするには、コンピュータを再起動してください。」というメッセージが表示されたら、「起動ディスク#1」をフロッピーディスクドライブにセットし、【Esc】を押した後、再起動する
- 5 再起動後、「ディスク2に交換してください。」と表示されたら、「起動ディスク#2」をフロッピーディスクドライブにセットし、何かキーを押す

6 「パスワードを入力してください:」と表示されたら、パスワードを入力する

7 次のように入力する

NET USE Q:¥<ネットワークコンピュータ名>
¥<ネットワークコンピュータのCD-ROMドライブ共有名>
【Enter】

✔ **チェック!** ドライブ名は必ず「Q:」と指定してください。共有するドライブ名はネットワークコンピュータ側が指定した共有ドライブ名を入力してください。

8 「起動ディスク#3」をフロッピーディスクドライブにセットし、「バックアップCD-ROM」をネットワークコンピュータのCD-ROMドライブ(共有したドライブ)にセットする

9 コマンドプロンプトから次のように入力する

SYSRESTV【Enter】

自動でハードディスクのフォーマット、ファイルの復元が実行されます。

10 「再セットアップが終了しました」というメッセージが表示されたら、「システムインストールディスク」をフロッピーディスクドライブにセットし、【Enter】を押す

11 画面の指示に従いフロッピーディスクを入れ替える

✔ **チェック!** 「システムインストールディスク(起動用)をセットし…」と表示されたら、「起動ディスク#3」をセットしてください。

12 セットアップ終了の画面が表示されたら、「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットしてから再起動する

✔ **チェック!** 再起動時に「有効なCD-ROMデバイスが選択されていません。」というメッセージが表示されますが、問題はありません。

- 13** 「再セットアップとは」の画面が表示されたら、【F3】を押して再セットアップを中止し、コマンドプロンプトから次のように入力する

SYS C:【Enter】

- 14** 「違うバージョンのMS-DOSまたはWINDOWSからシステムファイルを上書きしようとしています。……続行してよろしいですか?」というメッセージが表示されたら、【Y】を押す

- 15** コマンドプロンプトから次のように入力する

UPDNC【Enter】

- 16** フロッピーディスクを取り出し、電源スイッチを押し、本機の電源を切る

- 17** 本機の電源を入れる

「Windows 98へようこそ」の画面が表示されます。

以上で、「3.Windows 98を再セットアップする」は終了です。
次に「4.Windows 98の設定をする」に進んでください。

4. Windows 98の設定をする

- 1** ディスプレイの解像度を選択する画面が表示された場合は、画面の指示に従って画面の解像度を選択し、【Enter】を押す



チェック!!

- ・800×600 ピクセルの解像度を表示できるかどうか分からない場合は、640×480 ピクセルを選択してください。
- ・解像度選択後、途中で再起動を促す画面が表示された場合は、必ず「はい」ボタンをクリックしてください。また、再起動にはしばらく時間がかかる場合があります。

- 2 「Windows 98 へようこそ」の画面が表示されたら、キーボードを使って名前とふりがなを入力し、「次へ」ボタンをクリック
名前を入力しないと、次の操作に進むことはできません。ここで入力した名前、ふりがなは再セットアップが完了した後には変更できません。変更するには、再セットアップが必要です。

 **チェック!!** 640×480 ピクセルの解像度で表示した場合、「次へ」ボタンは画面の右下に隠れています。マウスでスクロールバーを操作してください。

- 3 「Windows ユーザー使用許諾契約」の画面を確認する
 (スクロールボタン)をクリックするか、キーボードの【Page Down】を押すと、「契約書」の下の方を読むことができます。
- 4 「同意する」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック
(同意しない場合、セットアップは続行できません)
- 5 「セットアップの完了」の画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック
- 6 画面の指示に指示に従ってセットアップを進める
何度か画面が変わり、次の画面が出るまでしばらくかかります。
セットアップが終了すると自動的に再起動します。
- 7 Windowsのデスクトップ画面が表示されたら、「スタート」ボタン
「Windowsの終了」をクリック
- 8 「電源を切れる状態にする」を選択し、「OK」ボタンをクリック

以上で、「4.Windows 98の設定をする」は終了です。
次に「5.システムの設定を元に戻す」に進んでください。

5. システムの設定を元に戻す



チェック!

BIOSセットアップメニューは、工場出荷時の状態では英語で表示されます。以下の説明は、日本語で表示されたメニューで説明しています。日本語のメニューを表示する方法は、『活用ガイド ハードウェア編』PART2 システム設定』をご覧ください。

- 1 電源を入れる
- 2 「NEC」のロゴの表示画面で「F2 :BIOSセットアップメニューを起動します、F12 :ネットワークブートします。」と表示されたら、【F2】を押してBIOSセットアップメニューを起動する
- 3 メニューバーの「メイン」で次のように設定する
フロッピーディスクA: 使用しない
- 4 メニューバーの「起動」で「取り外し可能デバイス」を選択し、【-】を押してリストの上から4番目に移動する
- 5 メニューバーの「終了」で「変更を保存して終了する」を選択し、BIOSセットアップメニューを終了させて、本機の電源を切る
- 6 フロッピーディスクドライブを取り外す

6. アプリケーションを再セットアップする(選択アプリケーションのあるモデルのみ)

各アプリケーションを再セットアップしてください。

再セットアップ方法は『活用ガイド ソフトウェア編』PART1 アプリケーションの概要と削除 / 追加』をご覧ください。

7. 購入後に行った設定をやり直す

購入後に行った設定は、再セットアップによってすべてなくなっているため、設定し直してください。

別売の周辺機器がある場合は接続して設定し直してください。ネットワークの設定なども再設定してください。また、別売のアプリケーションをインストールしていた場合もインストールし直してください。



FAT32ファイルシステムの利用

本機にインストールされているWindows 98では、FAT32ファイルシステムをサポートしています。ここでは、FAT32ファイルシステムの概要や設定方法について説明します。

FAT32ファイルシステムについて

FAT(File Allocation Table)ファイルシステム(以降、FAT16)は、MS-DOSや従来のWindowsで使用されている基本的なファイルシステムです。FAT32ファイルシステム(以降、FAT32)はFAT16を拡張したファイルシステムで、次のような特徴があります。

- ・ FAT16では、2GBの容量を超える領域を扱えませんが、FAT32では理論上2TB(2,047GB)の容量まで扱えます。

FAT32を使用する場合の注意

本機の工場出荷時のハードディスクの基本MS-DOS領域はFAT16です。通常は、FAT16のまま使用してください。FAT32を使用する場合は、「Windows」フォルダのgeneral.txtと次の注意事項を確認してご使用ください。

- ・ ハードディスクにインストールされた他のOS(Windows NT 4.0 Workstationなど)からは、アクセスできません。
- ・ ご使用になっている別売のソフトウェアによっては正しく動作しない場合があります。
- ・ スキャンディスク、バックアップ、およびデフラグなど、「システムツール」グループにあるディスク管理ツールはFAT32に対応しています。ただし、「ドライブスペース」でFAT32のドライブを圧縮できません。
- ・ FAT16に戻すためには、再セットアップする必要があります。

FAT32の設定方法

FAT32を利用するには、「FDISKコマンド」を使用して領域を作成、または「ドライブコンバータ(FAT32)」を使用して領域を変換します。「FDISKコマンド」は、ハードディスクに領域を作成したり、削除したりするプログラムです。「ドライブコンバータ(FAT32)」はFAT16ファイルシステムのハードディスクをFAT32ファイルシステムに変換します。

✓チェック! 領域を削除すると、お客様がセットアップしたシステムやアプリケーション、データファイルもすべて削除されます。大切なデータやファイルがある場合には、必ずフロッピーディスクなどの別の媒体に保存してください。

「FDISKコマンド」での設定

1 本機をMS-DOSモードで再起動する

2 以下のように入力する

FDISK /X【Enter】

ハードディスクの容量が512MB以上の場合は、大容量ディスクのサポートを行うかどうかを確認する、次のようなメッセージが表示されます。

512MB以上のディスクがあります。このバージョンのWindowsでは、大容量のディスクのサポートが強化され、ディスク領域を有効に使えるようになりました。2 GB以上のドライブを1つのドライブとしてフォーマットできます。

重要：大容量ディスクのサポートを使用可能にして、このディスクに新しいドライブを作成した場合、ほかのオペレーティングシステムを使ってこの新しいドライブにアクセスすることはできません。(Windows95とWindows NTの特定のバージョン、以前のバージョンのWindowsとMS-DOSを含む)。また、FAT32ファイルシステム用に設計されていないディスクユーティリティは、正常に動作しません。このディスクでほかのオペレーティングシステムや以前のディスクユーティリティにアクセスする必要がある場合、大容量ドライブのサポートはしないでください。

大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか (Y/N) ?[Y]

3 【Enter】を押す

メモ

領域(ただし、512MB以上の領域)を作成すると、その領域にはFAT32が適用されます。

4 Windowsを再起動する
ドライブをフォーマットすると、領域が利用できるようになります。

「ドライブコンバータ(FAT32)」での設定

ドライブをFAT32ファイルシステムに変換する手順は、『Microsoft Windows 98 ファーストステップガイド』または、Windows 98のヘルプの中にあるオンライン形式の『Microsoft Windows 98 ファーストステップガイド』第5章 高度な機能』の「FAT32ファイルシステムを使う」をご覧ください。



チェック!!

- ・ドライブコンバータを使う前に、Windows 98のヘルプにある「ドライブコンバータ(FAT32)を使う」をよくお読みください。
- ・ドライブコンバータを使う前に、コンベシヨナルメモリ空間を確保するため、「CONFIG.SYS」や「AUTOEXEC.BAT」に追加したドライバを無効してから、実施してください。



活用ガイド 再セットアップ編

PC98-**NX** シリーズ

Mate **NX**

Mate **NX**®

(Windows 98インストールモデル)

初版 1999年10月

NEC

P



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙(古紙率:表紙50%、本文100%)を使用しています。